

学習目標		
(1)具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方について理解を深めるとともに、加法及び減法についての理解を深め、用いることができるようにする。また、乗法の意味の意味について理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。 (2)具体物を用いた活動などを通して、長さや体積などの単位と測定について理解できるようにし、量の大きさについての感覚を豊かにする。 (3)具体物を用いた活動などを通して、三角形や四角形などの図形について理解できるようにし、図形についての感覚を豊かにする。 (4)具体物を用いた活動などを通して、数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり読み取ったりすることができるようにする。		
月	単元・題材名	学習内容
4	1. ひょうとグラフ	・身の回りにある数量の特徴をとらえることに関心を持ち、それらを分類整理して、簡単なグラフや表を用いて表したり読み取ったりする。
	2. たし算のひっ算	・2位数の加法の筆算の仕方について理解し、確実にできるようにするとともに、それを用いる能力を伸ばし、加法についての理解を深める。
	3. ひき算のひっ算	・2位数の減法の筆算の仕方について理解し、確実にできるようにするとともに、それを用いる能力を伸ばし、減法についての理解を深める。
5	4. 長さのたんい	・長さの測定などの活動を通して、単位の意味と測定の原理を理解し、長さの測定ができるようにするとともに、長さについての量の感覚を身につけられるようにする。
6	5. 3けたの数	・1000までの数について、その意味や表し方を理解し、数の概念について理解を深めるとともに、数を用いる能力を伸ばす。
	6. 水のかさのたんい	・体積の測定などの活動を通して、長さの学習を基に単位の意味と測定の原理を理解し、体積の測定ができるようにするとともに、体積について量の感覚を身につけられるようにする。
7	7. 時こくと時間	・時刻と時間の概念、日、時、分の単位やそれらの関係を理解し、それらを日常生活に用いることができるようにする。
9	8. 計算のくふう	・加法の結合則、簡単な加減の暗算の仕方を理解することを通して、加減計算についての理解を深め、それを用いる能力を伸ばす。
	9. たし算とひき算のひっ算	・既習の筆算を基に、2位数の加法及びその逆の減法の筆算の仕方について理解し、確実にできるようにするとともに、それを用いる能力を伸ばす。
10	10. 長方形と正方形	・平面図形に親しみ、図形についての感覚を豊かにするとともに、三角形、四角形などの構成要素をとらえ、それらの意味や性質を理解する。
	11. かけ算(1)	・乗法の意味について理解し、それを用いる。
11	12. かけ算(2)	・乗法の意味について理解を深め、それを用いる。
12	13. 4けたの数	・10000までの数について、その意味や表し方を理解し、数の概念についての理解を深めるとともに、数を用いる能力を伸ばす。
1	14. 長いものの長さのたんい	・長いものの長さの測定などの活動を通して、単位の意味と測定の原理を理解し、長さの測定をし、長さについて量の感覚を身につける。
	15. たし算とひき算	・加法と減法の相互関係について理解して、場面を式に表したり式を読み取ったりし、問題を解決する能力を伸ばす。
2	16. 分数	・分数を用いるとものを半分や四半分にした大きさを表せることを知り、日常生活の中で分数を用いる能力を身につけられるようにする。
3	17. はこの形	・箱の形をしたものを観察したり作ったりする活動を通して、図形を構成する要素を理解するとともに、立体図形の基礎的な概念を理解する。
	※2年のふくしゅう	・2年での既習事項の復習をし、習熟する。
評価の観点		
【関心・意欲・態度】 数量や図形に親しみを持ち、それらについて様々な経験をもととするとともに、知識や技能などを進んで用いようとする。 【数学的な考え方】 数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して、数理的な処理に親しみ、考え表現したり工夫したりしている。 【数量や図形についての技能】 整数の計算をしたり、長さや体積などを測定したり、図形を構成したり、数量の関係などを表したり読み取ったりするなどの技能を身につけている。 【数量や図形についての知識・理解】 数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方、整数の計算の意味、長さや体積などの単位と測定の意味、図形の意味及び数量の関係などについて理解している。		
評価の方法	テスト 発言内容 活動の様子 ノート ワークシート	

